

東海第二原発再稼働反対！

水戸市で1000人を超える集会・デモ！

超老朽原発の再稼働は、 茨城だけでなく国をも滅ぼす！



9月1日(土)午後1時30分から、東海第二原発の20年延長稼働に反対する「東海第二再稼働STOP!茨城集会」が、水戸市駅前の駿優会館で開催され、県民や近県から1000人余が結集しました。

集会終了後、水戸駅北口の宮下銀座から南町の自由広場まで約1kmをデモ行進し、「東海第二原発の再稼働反対」を市民に訴えました。

福島県南相馬市の桜井勝延前市長が発言。被災の状況や被災者のその後の悲惨な現状を報告しました。桜井氏は「原発の災害を防ぐというなら原発をなくすことしかない」「東海第二原発の再稼働は絶対に許してはならない」と訴え、大きな拍手を受けました。



【千葉・横浜の仲間もデモ行進に参加。発足したばかりの「かすみがうら平和の会」の旗も翻りました。】

賛同人からの訴えで、中島栄さん(美浦村長)、原中勝征さん(元日本医師会会長・医療法人大圃病院理事長・桜川市在住)、佐藤洋一さん(茨城県生活協同組合連合会会長理事)、秋山豊さん(県北地区農業協同組合協議会・常陸農協代表理事組合長)、伏屋淑子さん(社会福祉法人淑徳会理事長・東海村)、村上達也さん(元東海村村長・東海村在住)がそれぞれの思いで、東海第二原発の再稼働の危険性や「再稼働を絶対に許してはならない」ことを訴えました。

最近結成され、東電本社や日本原電本社に対して、毎週抗議行動を行っている「止めよう!東海第二原発 首都圏連絡会」からの挨拶がありました。次いで河合弘之弁護士(脱原発弁護団全国連絡会共同代表)が連帯の挨拶を行い、「東海第二原発は老朽化した極めて危険な原発。事故になれば茨城だけでなく関東近県や首都東京も大きな被害を受け、国が亡びる。私たちの総力をあげて廃炉に追い込もう」と訴えました。

平和委員会も集会実行委員として参加し、地域の仲間とともに取り組みを進めました。

「不都合な真実II」石岡上映会

9月30日(日) ①14:00~15:40

②18:00~19:40

ふれあいの里石岡「ひまわり館」ホール

入場料:前売り1000円(当日1200円)

高校生以下無料

主催:「不都合な真実II」を観る会

連絡先:高栖 敬(090-2236-5395)

後援:石岡市、石岡市教育委員会



※ 放置された地球!あなたは「衝撃の現実」を目撃する。

JCO臨界事故を忘れない

原子力事故をくりかえさせない



2018年9.30茨城集会

とき 9月29日(土) 午後1:30~4:00

ところ 東海村産業・情報プラザ(アイヴィル)

☎029-306-1155

今年11月28日に東海第二原発は40年の運転期間が切れます。原子力規制委員会は7月4日に「安全性審査合格」を与えました。規制委員会委員会の動きを見れば、危険な20年延長にも「OK」を出す可能性が高くなっています。

日本原電の調査でも、圧力容器の超音波探傷試験で、10ヶ所で「記録すべきエコーあり」と言います。専門家の後藤さんから詳細を聞きます。

日本原電の財務体質は脆弱です。万が一にも事故が起きた場合、賠償する余裕はありません。東電福島事故補償の実態を福島県浪江町議の馬場さんに聞きます。

【内容】 オープニング いわきフォークソング「雑魚塾」

講演1 東海第二原発の20年延長特別点検について
—圧力容器の放射線照射による脆化調査など—
元(株)東芝 原子炉格納容器設計担当

工学博士 後藤 政志 氏

講演2 原発事故被災者への加害責任(損害賠償)を問う
福島県浪江町議会

復興・創生特別委員会委員長

浪江町議 馬場 績 氏

資料代 500円 保育あります。要・事前連絡

平和新聞

2018年9月15日(土)

2179号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館
(郵送料月額120円) 電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.818
2018.9/15

発行:茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川2-127-281
TEL/FAX 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

第2回理事会「主要駅頭一斉宣伝行動」を決定！ 10月15日（月）早朝にチラシ配布・宣伝を行う！



9月8日（土）午後1時30分から、県青少年会館で、平和委員会 第2回理事会が開催されました。開催の趣旨は、① 夏の取り組みの交流 ② 秋のとりくみ（特に「10月の県内一斉平和宣伝行動」）の意思統一です。参加者は34名。議長は近藤輝男常任理事（土浦）でした。終了予定時刻（4時）を30分もオーバーする熱気ある討議が行われました。

秋の一斉平和宣伝行動は、「東海第二原発20年延長反対」、「憲法9条改悪反対・沖縄辺野古新基地建設反対」を柱に、事務局が「B4版・カラーチラシ」を作成。10月15日（月）、主要駅頭で、状況に応じて60分を目途に、宣伝やチラシ配布をします。

★ 沖縄知事選

「玉城デニー候補勝利」へ カンパが集まる！

オール沖縄の象徴として8月8日に亡くなった翁長沖縄県知事。その意思とオール沖縄の思いを継ぎ、「辺野古新基地は作らせない」として、玉城デニーさんが立候補しました。

「知名度とかイメージとかで勝てるほど沖縄の選挙は甘くない。今年1月の名護市長選でも、辺野古阻止の理念とかイメージで言えば、稲嶺進＝前市長が勝って当たり前だったが、実際には自民党がカネを散布したあとに創価学会員が地を這うように戸別訪問を繰り返して票を掘り起こす徹底的な組織戦を展開して、稲嶺陣営としてはお手上げだった。6月の新潟知事選も同様だったと伝聞している。となると、自公維側のそのような組織戦に対抗して、地を這う集票作戦を立案し実行できる「『オール沖縄』の統一作戦本部が必要になる」と、高野孟氏（ジャーナリスト）は言います（日刊ゲンダイ）。実際はもっと激しく問題の多いことだったとも言われます。

沖縄知事選は告示が9月13日（木）、投開票が9月30日（日）でたたかわれています。沖縄知事選カンパは、理事会中に予定金額（50万円）のおおよそ半額が集約されました。

1. 県内主要駅頭一斉宣伝行動

と き：2018年10月15日（月）

午前6時30分～ 8時30分

・状況に応じて「60分程度の時間帯」で実施する

ところ：主要駅

（地域ブロックで相談し駅を特定し実施計画をつくる）



＜＜平和の会・平和委員会・ブロックでの準備＞＞

地域の他団体へ広く呼びかけ、共同行動を追求する。

・近隣の関係団体、地域で結成されている「実行委員会」や「地域連絡会」にも働きかけ、共同行動を進める。・県平和委員会事務局は上部団体へ要請する。

・必要に応じて、宣伝カーやハンドマイクを準備する。

・各地域で、他団体と連絡を取り準備する。使用料等は現地対応を原則とする。

・横断幕等の作成は必要に応じて事務局と打ち合わせる。

横断幕等は、事務局と相談して作成します。

＜＜事務局の準備＞＞

① 4版カラーチラシを作成する。枚数は6万枚以上

② 横断幕を作成する。

■討議の中で提案された主要駅頭

・県北 東海駅・勝田駅・大宮駅（各駅とも自力で）

日立駅（←北茨城・太田の支援） 那珂駅（これから）
上菅谷（←実施する） ※大子・美和緒川は近隣支援

・県央 水戸駅（←事務局を中心に）

内原駅・友部駅（自力）

・県南Ⅰ 石岡駅・土浦駅（自力） 荒川沖駅（←阿見）

神立駅・高浜駅（これから）

・県南Ⅱ 牛久駅 守谷駅（自力） 取手駅（藤代・あおぞら）

守谷駅（自力）

つくば駅・佐貫駅（これから） 結城駅（自力） 行

・県西 下館駅・結城駅（自力）



・鹿行 鹿嶋神宮駅（自力）

※地域で協力団体等へ呼びかけ、共同行動をめざします。

■カラーチラシ（B4版・表裏）の作成

・内容 「東海第二原発20年延長反対」

「憲法9条改悪反対・沖縄辺野古新基地建設許すな」

・作成者 伊達代表理事 海老沢事務局次長

・原稿完成（9/25） ・校正終了（10/2）

・完成（10/10） ⇒各地に配送

■取り組みの計画表 ⇒ 9月中に作成し担当に配布する。

2. 平和ワインは、「赤」「白」とも扱う。

値段は各1,700円！

・「赤」ワインの注文が多いのですが、「赤」の「ヌーボー」はありません。

・（結論）今年度は、「ヌーボー」は扱わず、「赤」「白」を扱います。

3. 「2018年平和大会学習パンフ」

1部200円。50円は地域還元！

・1部200円で販売し、50円は地元の活動費に活用。事務局へは150円送付します。

・現在、200部の普及済。会員はもちろん、地域の他団体にも普及します。

4. 新聞意見広告に早目に取り組み

・賛同用紙は、9月下旬までに送付します。

東海第二原発再稼働の動き（速報）

県内主要駅頭宣伝が重要！



東海第二原発20年延長のためには、今年の11月28日までに、① 新規制基準適合の認可（9月頃？） ② 工事計画の認可（10月頃？） ③ 20年延長の認可（11月頃？）の3つを通過しなくてはなりません。その上で防波堤などを含む「安全対策工事」に入ります。工事の終了は21年3月と言われていいます。10月の「県内一斉宣伝」は重要な取り組みです。